

九州新幹線長崎ルート開業に伴う J R 博多南線の 存続及び輸送力の維持向上に関する提言書

はじめに

那珂川町議会では、九州新幹線長崎ルート開業に向け、博多南線・長崎ルート特別委員会を設置し、九州新幹線長崎ルートの開通が J R 博多南線の運行に及ぼす影響に関する調査、研究を行った。

調査・検討の経過

平成 27 年	9 月 25 日	博多南線・長崎ルート特別委員会設置
平成 27 年	11 月 24 日	第 1 回博多南線・長崎ルート特別委員会
平成 27 年	12 月 17 日	第 2 回博多南線・長崎ルート特別委員会
平成 28 年	3 月 8 日	第 3 回博多南線・長崎ルート特別委員会
平成 28 年	3 月 15 日	第 4 回博多南線・長崎ルート特別委員会
平成 28 年	3 月 24 日	第 5 回博多南線・長崎ルート特別委員会

那珂川町では、平成 2 年に開業された J R 博多南線 { 区間 : 博多駅—博多南駅間 8.5 km、所要時間 : 9 分 (以下「博多南線」と表記)} を基幹交通網と位置付け、博多南駅を交通結節点とした町内交通体系の整備や、二度にわたる博多南駅前土地区画整理事業を施工し、博多南駅を中心とした駅前ビル・駅前公園、自転車駐車場、駅前広場の設置など、住民福祉の向上を目指して、博多南線及び博多南駅周辺がより一層充実するように施策を講じているところである。

博多南線は現在、1 日 54 便が運行されており、交通の利便性は高く、開業当時は 1 日あたり約 3,700 人であった利用者も、平成 26 年度には 1 万 3 千人を超え、年間収入も 8 億円に達する黒字路線であるとの報告を受けている。那珂川町はもとより福岡市南区、春日市、大野城市は博多南駅を地域の玄関口として街並みを形成し、関係住民は約 30 万人に及ぶ主要な交通手段として、交通の利便性向上に伴う地域の活性化並びに地域住民の福祉向上など、周辺地域に無くてはならない生活の基盤として定着している。

このような中、九州新幹線長崎ルートではフリーゲージトレインを開発・活用することにより、「新鳥栖」から「武雄温泉」間の在来線区間 (狭軌)

と「武雄温泉」から「長崎」までの新幹線区間（標準軌）の異なる軌間を運行することとして整備が進められているが、一方ではフリーゲージトレインの開発が難航している事が報道されており、先行きは不透明な状況となっている。

このような状況ではあるが、九州新幹線長崎ルートが開業した場合には、博多南線と路線を共用することから、博多南線の運行に影響が出るのではないかと強く懸念している。

上記のとおり、調査・検討を重ねた結果、本議会では、博多南線の存続及び輸送力の維持向上について、下記のとおり取りまとめたので、当該提言事項を慎重に検討され対策を講じられるよう提言する。

記

提言事項

1. 九州新幹線長崎ルート開業後における博多南線の存続について

九州新幹線長崎ルートの開業後においても、博多南線の存続を図ること並びに減便等を行わないよう鉄道事業者（JR西日本、JR九州）へ働きかけること。

2. 博多南線の利便性向上について

博多南線は利便性の高さから、これまで地域の発展に大きく寄与してきた貴重な路線であり、利用者数も年々増え続け、増便等を望む利用者の声も多く聞かれることから、更なる利便性向上を図るため、増便等の輸送力向上を図ることを鉄道事業者（JR西日本）へ働きかけること。

平成28年3月25日

福岡県 那珂川町議会